

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会 記録

- 1 日時 令和5年6月22日(木) 13:15~14:50
- 2 場所 高浜小学校 会議室
- 3 出席者 人権擁護委員
保育園長
中学校教務主任
PTA会長
校長 教頭 教務主任 校務主任 総括事務長

4 学校経営方針等について

各担当から資料に沿って説明

5 授業参観の感想、質疑応答、意見交流

【評価委員】

- ・電子黒板やタブレットが導入され時代の変化を感じた。使い方によって非常に有効である。タイピング速度が早く素晴らしい。
- ・子どもが楽しそうに笑顔を向けてくれて、元気に順調に育っていると感じた。
- ・まち協に参加してくれる若い人が少ないので、地域のためにがんばろうと思う子どもが育っているのが嬉しく、このまま育ってほしい。

【評価委員】

- ・どのクラスも子どもたちが楽しそうに授業を受けていて、とてもよかった。
- ・低学年でもタブレットを使おうとしていて、先生の努力がすごくわかった。
- ・指導案を見て、どの教科にも道德の項目を取り入れていこうという先生の気持ちがよくわかる。
- ・色々なアイデアを出して挑戦している働き方改革への取り組みが素晴らしい。

【評価委員】

- ・保育園の子どもは一年生になると、「やっと勉強できる」という気持ちで期待感を持って入学していく。そのままの気持ちで大きくなってもらいたい。
- ・卒園した子どもが、どの子も生き生きとした顔で授業を受けていて安心した。
- ・一年生の活動が気になるのでHPの学年だよりをよく見ている。今年度はまだHPに掲載されていないのでアップしてもらいたい。
- ・双子のクラス編成への考え方が以前と変わってありがたい。園や保護者の希望にも配慮をお願いしたい。

【評価委員】

- ・読書感想文の提出が任意になったり、夏休みの宿題の量が少なくなることで、子どもの勉強量の低下を心配する不安の声が耳に入り、働き方改革への不安の声もある。
- ・以前の授業参観では子ども中心に見ていたが、今回は先生方の授業の様子を見ることができた。先生は子どももの自主性や肯定感を伸ばしてもらえようようなエネルギーにあふれた授業をしてくれている。他の保護者にもこのことを伝えていきたい。



【学校関係者評価委員の授業参観の様子】

【学校】

- ・読書感想文については、市立図書館が事業としてやらなくなったが、県のコンクールは残っているため、どちらでもよい形になった。
- ・働き方改革は、子どものためだけでなく、先生の残業時間が減らないという勤務状況のことも考えている。忙しいと余裕がなくなり授業に回す時間がなくなってしまう。ストレスを感じたままでは素でない部分が出てしまうときがある。先生の様子を見ながら進めていく。
- ・宿題の在り方は色々といわれているが、子どもが自主的にやりたい事を考えるのを大切にするという意味合いである。

【学校】

- ・言われたことだけをやるのではなく、自分で考え、自分の興味、関心があることに取り組もうという思いが大切である。
- ・指導要領が変わり、教員は児童の学びの伴走者になった。子どもが何に興味を持っているか、それをどう引き出すか、思考力を伸ばせるように授業のやり方を考えていく必要がある。
- ・宿題の出し方も、今までは一律同じものが多いが、今後は個別最適学習でその子に合うものを出すというように全体的に変化していくとよい。

【評価委員】

- ・中学校でも宿題は一律に同じ教材を買って行っている。個を見て宿題や課題を変えていく必要があると話している。
- ・公立入試がマークシートになったが、記述問題は残してテストを作成している。
- ・小学校で英語が始まったことで、中学校での勉強が難しくなったと英語の先生は言っている。単語量がすごく増え、小学校で学んだから中学校ではこのレベルから始めることになりハードルが高くなった。

【学校】

- ・マークシートは問題を作るのも大変である。選択の理由を誰もが納得するように考えなくてはいけない。答える側も同様の力が必要。
- ・全国学力調査は知識を問う問題というよりは、一つの問題に色々な考え方でアプローチして答えを導き出す問題もある。単に問題を解くだけでなく、他の人の考え方を理解できるようになることが求められつつある。
- ・教員には学ぶ時間も必要。働き方改革は、本来の業務に集中できるようにするため、子どもに目を向けるためのものなので、保護者の方は不安に思わずよいことだと応援してもらいたい。

【学校】

- ・英語の教科化、プログラミング教育、タブレットの導入など、やることが減っていかない。新しい機械が入ればそれを使いこなさないといけない。指導要領が変わり業務量は増えている。

【評価委員】

- ・働き方改革により、先生のストレスや気疲れ、負担が減り、授業の質が高まるのはよいことだと感じた。私からもみなさんに伝えたい。



【リズムと歌 園と小のつながり例】

※今回いただいたご意見を今後に生かしていきます。ありがとうございました。